

リーディングDXスクール事業【実践事例】

石垣市立登野城小学校（沖縄）【指定校】

【取組内容③】校務DX（標準仕様とクラウドを活用し教員の働き方改革につなげる取り組み）

学校の取り組み

【校務DX…クラウドを活用した取り組み】

- ①校内研修
- ②職員会議
- ③連絡ツール：chat
- ④校内OJT

クラウド化による業務改善

○校内研修の資料をクラウド化、他の先生の日頃の授業の様子や端末活用などを載せておくことで、情報共有しやすくなった。時間や場所の制限が減った。

○職員会議のペーパーレス化により、紙代の節約、印刷**準備等の時間短縮**につながった。

○連絡をチャットで行うことで、時間の短縮につながり、**報連相確**がより**スピーディー**かつ記録として残すことができた。

○校務DXが進んだことで、先生方の端末活用の**基本的なスキル**が向上した。

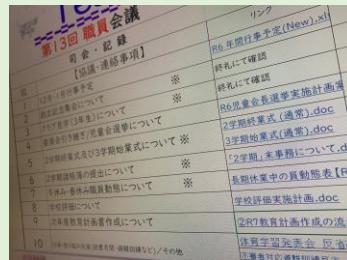
校内研修

- ・授業研究会・資料のクラウド化
- ・授業の様子(動画・写真)をアップ
→授業について話し合い
→担任の授業実践の共有
- ・校内研に広がりが出る。



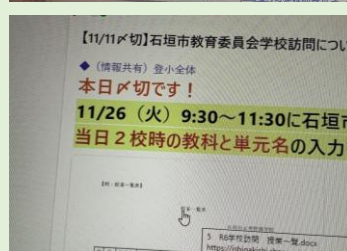
職員会議など

- ・会議資料のクラウド化
- ・ペーパーレス
- ・オンラインによる参加が可能
- ・諸会議などの時間減



連絡ツール

- ・チャット機能
- ・報連相確の速度アップ
- ・情報の共有・記録
- ・連絡の時間や場所を選ばない
- ・登校支援(サポートルーム)の状況・課題の共有



校内OJT(ミニ研修)

- ・ICT支援員によるミニ研修
- ・職員間のOJT→学年での広がり
- ・職員のスキルアップ

